

「第 7 回日経 SDGs 経営大賞」で「大賞」を受賞

キリンホールディングス株式会社（社長 COO 南方健志）は、「第 7 回日経 SDGs 経営大賞」にて「大賞」を受賞しました。「SDGs 経営」総合ランキングにおいては、2019 年の第 1 回より 7 年連続で最高位である「★★★★★」（偏差値 70 以上）にランクインしました。



「日経 SDGs 経営調査」は、日本経済新聞社が 2019 年より実施している国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」への企業の取り組みを評価する調査で、本年も「SDGs 戦略・経済価値」「社会価値」「環境価値」「ガバナンス」の 4 つの分野で評価が行われました。当社は 2020 年（第 2 回）の「環境価値賞」、2022 年の「SDGs 戦略・経済価値賞」に続き、3 回目の受賞となりました。

当社は、1907 年の創業以来、発酵・バイオテクノロジーをコア技術として発展してきました。酒類や飲料から医薬へ事業領域を広げ、そして現在はヘルスサイエンス事業の拡大に注力しています。また、2011 年の東日本大震災の復興支援をきっかけに、社会が抱えるさまざまな課題を自社の強みで解決し、社会とともに発展する CSV^{※1}を経営の軸に据えて取り組んでいます。

長期経営構想「キリングroup・ビジョン 2027」において、「食から医にわたる領域で価値を創造し、世界の CSV 先進企業となる」ことを掲げ、特に、「酒類事業を営むキリングroupとしての責任」「健康」「コミュニティ」「環境」それぞれの社会課題の解決に取り組むことで、SDGs への貢献を目指してきました。

※1： Creating Shared Value の略。お客様や社会と共有できる価値の創造

キリングroup CSV パーパス



*1 「企業としての普遍的な責務」は、CSVパーパスには含まれない経営課題である「人権」「人財」「ガバナンス」「道義的責任」など

【「第 7 回日経 SDGs 経営大賞」表彰式にて】



右：キリンホールディングス株式会社 代表取締役社長 COO 南方 健志

「コミュニティ」への貢献としては、「午後の紅茶」の原料生産地であるスリランカの農園において、環境に配慮し、そこで働く人々の労働環境や生活環境を向上させる認証制度である「レインフォレスト・アライアンス認証^{※2}」の取得支援を 2013 年より行っています。日本が輸入するスリランカ産茶葉の約 25%を「午後の紅茶」が使用していることもあり、紅茶葉はスリランカにとってもキリンにとっても重要な農作物です。その持続可能性を守ることは、当社のビジネスにとっても極めて重要と考えています。

※2 自然と作り手を守りながら、より持続可能な農法に取り組むと認められた農園に与えられる認証

「環境」への取り組みとしては、気候変動への対応として SBT ネットゼロ^{※3} 認定を世界の食品企業として初めて取得し、生物資源では、自然関連財務情報開示タスクフォースの TNFD^{※4} で世界に先駆けた自然資本の情報開示にも挑戦してきました。現在は、サプライヤーの方々と協働し、Scope3 における GHG 排出量削減に向けて「サプライチェーン環境プログラム^{※5}」を開始しました。ビール製造においては、グリーン水素由来のエネルギー源の活用を予定するなど、事業活動のあらゆる領域で環境への貢献度を高めています。

※3 パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より 2℃を十分に下回る水準(Well Below 2℃)に抑え、また 1.5℃に抑えることを目指すもの）が求める水準と整合した温室効果ガス排出削減目標として、2015 年に CDP、国連グローバルコンパクト、世界資源研究所および WWF の 4 団体で設立された SBT イニシアチブにより認定されたもの

※4 Task Force on Nature-related Financial Disclosures の略。自然資本に関するリスクと機会について企業が報告し行動するための、リスク管理に向けた情報開示の枠組みである自然関連財務情報開示タスクフォース

※5 [「キリンサプライチェーン環境プログラム」をスタート | 2024 年 | KIRIN - キリンホールディングス株式会社](#)

また、お客様の「健康」課題解決においては、2019 年に立ち上げたヘルスサイエンス事業で、当社の独自素材である「プラズマ乳酸菌」を通じて、多くの方々の免疫維持をサポートしています。日本のみならず、東南アジアなどグローバル展開も進め、プラズマ乳酸菌の国内外の継続摂取人数は 78 万人に広がってきました。ほかにも、減塩食の味に対する不満を解決するために開発した減塩サポート食器「エレキソルト^{※6}」についても、大きな反響をいただいています。今後も、人と技術の力で多様な事業を通してイノベーションを発揮し、グローバルで「健康」という社会課題を解決し、新たな成長機会につなげていきたいと考えています。

※6 [エレキソルト公式オンラインストア](#)

今回の調査では、こういった取り組みを評価いただいたと考えており、今後も各事業での取り組みを加速させ、CSV パーパスの実現を目指していきます。

キリングroupは、「酒類事業を営むキリングroupとしての責任」を果たし、「健康」「コミュニティ」「環境」という社会課題に取り組むことで、こころ豊かな社会を実現し、お客様の幸せな未来に貢献します。

<参考>

・キリングroup環境ビジョン 2050 <https://www.kirinholdings.com/jp/impact/env/mission/>

・キリンググループ「環境報告書」 https://www.kirinholdings.com/jp/investors/library/env_report/

(お客様お問い合わせ先)

キリンホールディングス株式会社 お客様相談室（フリーダイヤル） 0120-770-502

企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/>